

祝！同時採択

“Thinkサイクリング山口” & “廃校再生サミット／山口”



公益財団法人山口きらめき財団の「きらめき活動助成金交付式」が、令和4年5月16日に、山口市の「KKRあさくら翠扇の間」で行われました。その記念撮影と、交付決定書の交付場面です。コロナの影響もあり、各団体が登壇して授与される従来の形ではなく、理事長の村岡県知事が席を巡る変則的な形で行われ、“Thinkサイクリング山口”は一列目で全体の4番目、“廃校再生サミット／山口”は後半の授与でした。

集合写真では後列中央に示し合わせたように並んでいますが、会場を後にした別の場所での名刺交換が初対面であり、並んだのは偶然でした。

とは言え、審査委員講評で、「今年の特徴として他の団体との連携企画が・・・」と、我々の申請事業を意識したようなコメントがあり、同時に採択されたのは、ある意味期待されているのではと。。。

まずは8月に予定している“廃校再生サミット／山口”が主催する「阿東自転車さんぽ」に、“Thinkサイクリング山口”から体験参加する、連携企画に向けて企画調整をしたいと思います。

交付式は事務手続きの説明も合わせスムーズに進み、15時過ぎには終了。

その後、16時から県庁ロビーにて、志賀さん、弘重さん、私と、サイクル県やまぐち担当の村田さんも同席し、“Thinkサイクリング山口”の方向性等について改めて話し合いました。それが終わってから、ファーストフード店で、國安さんと明日香さんに弘重さんを紹介し、“廃校再生サミット／山口”との連携企画について打ち合わせを行い、さらにその後、セオサイクル山口とANOサイクルを訪ね、三明さんと、光永さんに、直前の話し合いの要点を伝えました。

交付式では“Thinkサイクリング山口”のことを「自転車市民権獲得を目指すため、自転車の多様性を伝える活動をする団体」と紹介されていましたが、その活動が「ホワイトサイクリング」に限られていることは理解困難と思われ、また今回の助成金の金額では申請した事業内容を履行するのは難しいため、事業内容の見直しと、やはり指摘を受けていた「会員」をどうするかの二点を、方向性として話し合いました。

現状の申請事業の名称は「情報発信フリーペーパー編集発行と人材交流学習トレジャー模擬実施」となっており、一方の「会員」の定義は規約の中で「第四条（会員）／目的を達成するための志を有する者を会員とする。」となっています。

これを、「自転車月間スクールズ開催に向けた協力者募集要項の作成とスクールズのひな型作り」と、「会員の補足／スクールズ開催を担当する個人や活動団体と、その場所等を提供する施設や管理団体を対象とする。」へ変更するのはどうだろうと説明しました。

“スクールズ”という単語はこの報告書作成の中で考えたもので、その場では「同時多発スクール」と言っていました。また、そういう変更案に至った過程は、過去の思い付きの再組上や直近の意見交換など複数の要素が絡むため、二つのショップで要約を伝えたように、まだの方にはこの週末にお会いして説明したいと思います。

そしてそう言った変更をするなら、再来年の自転車月間を一つの目標にして活動を組み立てたい、その手始めとして8月の連携企画の位置付けは変わらないとも説明しました。

▼打ち合わせで配布した資料



※左より・・・
「事業計画書」「雑感レポート①/②」「構想30年と構想25年」「CN再構築」「徳島大学CT講座」

と言った「ホワイトサイクリングに絞ったスクールに特化する活動方針」に対し、志賀さんからはオレンジトロフィーもその枠内に合致すると、弘重さんからは8月の連携企画には参加予定と、肯定的な言葉を頂きました。そして、今回の立ち上げを改めて村田さんにも伝え、サイクルステーションの活用方法についての意見交換も行いました。

30分程度の予定が白熱して、やや遅れて、次の場所へ移動し、名刺交換の後、こちらは夏の「阿東自転車さんぽ」、秋の「コマ地図ブルベ美祢長門」、春の「ゲーム旅錦川車窓風景」の三つのイベント実施を申請しているため、具体的にどう進めるかの意見交換をし、5月31日の総会にて説明するための資料を揃えることを確認して散会。

その後、閉店時間を確認して、二店舗を訪ねた次第です、ザックリ報告でしたが、配布した資料で説明できなかったものや、その他の積み残しもあるので、改めて皆様に説明した後で、事業内容変更届を提出したいと思います。

2022/05/18 いわくに研究会企画担当／石丸